

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成 28 年度第 2 回 第 1 分科会（生活環境、産業分野）
日時	平成 28 年 10 月 5 日（水） 午後 2 時～午後 4 時
場所	防災センター 2 階 研修室 1
出席者	市民委員 小倉 勲夫、堀場 敏之、望月 晴夫、阿部 枝美子、岩井 喜美子、高垣 澄子、 林本 剛幸
	市職員 小塚 昌宏（代理 松本 幸司）、山田 順一（代理 岩田 直幸）、石坂 育己、 大岩 直文、石川 晶崇、平野 勝庸、谷 宣夫、長谷川 久昇
傍聴者	なし
議題	1. 施策評価の結果について 2. その他
資料	江南市まちづくり会議（分野別会議）議事要旨

◆ 会議結果 ◆

1. 施策評価の結果について

〔柱 4〕生活産業の活性化・雇用就労と商工農業の振興

- 資料 4-1 及び 4-2 に基づき、委員（商工観光課長、農政課長）より説明がありました。

〔施策①〕商工業の活性化

- 各指標の基準値と目標値の設定方法について質問があり、「魅力ある商店街が形成されており、便利に買い物できると感じる市民の割合」については、平成 18 年度に実施した市民意向調査の数値を基準として、それを上回る数値を目標値としている。「商品販売額」は、国の商業統計調査の平成 16 年度実績値を基準として、数値を維持する目標値としている。「製造品出荷額」は、国の工業統計調査の平成 17 年度実績値を基準として、近年の減少傾向を考慮して目標値を設定している。「売上 D I 値」は、市内事業所への研究調査の平成 18 年度の数値を基準とし、リーマンショックの影響を鑑みて目標値を設定しているとの説明がありました。
- 目標値の設定は基準値を上回る必要があるのではないかととの質問があり、目標値の設定は本来そうあるべきと考えるが、社会情勢の変化を考慮して設定しているものもあるとの説明がありました。
- 減少傾向にある製造出荷額について、基準値に近づけるためにどのような行政努力をしているのかとの質問があり、新たに起業される方への支援や中小企業への融資に関する補助を行っており、今後、商工会議所や民間の支援団体と連携を取りながら、企業の振興を図っていくとの説明がありました。
- プレミアム商品券の販売方法について、予約販売で抽選に漏れた人がいる中で、別に当日販売を行ったのは、不公平感が出たのではないかと。今後実施する際は販売方法を改めてほしいとの意見がありました。

〔施策②〕新たな産業の創出

- セミナー開催等の新たに起業を考える方に対する支援内容を積極的に啓発することが、市内製造業の事業所数の減少に歯止めをかけ、出荷額等の増加に結びついていくのではないかととの意見がありました。

〔施策③〕労働環境の整備

- すいとぴあ江南の利用者数の詳細について質問があり、利用者数は宿泊室、研修室、多目的ホール、テニスコート、スポーツジム、浴場等の施設利用者の合計であり、宿泊室は平成 27 年度が 13,066 人、平成 26 年度が 12,718 人で、テニスコートは平成 27 年度が 9,484 人、平成 26 年度が 10,480 人の利用があっ

たとの説明がありました。

- ・すいとぴあ江南で宿泊する場合、利用者は午後9時に夜間外出ができなくなるが、利用者を増やすためにも見直してほしいとの意見がありました。

【施策⑤】観光事業の推進

- ・イベントボランティア参画者数に含まれる対象者について質問があり、イベントボランティア協会の会員が市主催あるいは後援しているイベントにボランティアとして参加した人数であるとの説明がありました。
- ・フラワーパーク江南へ多くの観光客に来てもらえるよう、公共交通機関を整備し、施設までの足を確保してほしいとの意見がありました。
- ・津島市観光協会との提携による婚活パーティーを実施しているのかとの質問があり、縁結び交流会は江南商工会議所と津島商工会議所が連携して開催しているイベントであり、市は後援として啓発を行っているとの説明がありました。

【柱5】自然と調和した快適な生活環境の確保

- ・資料4-1及び4-2に基づき、委員（環境課長）より説明がありました。

【施策①】環境保全への意識の高揚

- ・市内街路灯におけるLEDの導入について質問があり、平成28年度よりLED照明への交換が行われており、各施設でも設備の状況に応じて切り替えを行っているとの説明がありました。

【施策②】公害の防止と対策の推進

- ・飼い犬の鳴き声やしつけの問題について質問があり、相談があった際には県の動物保護管理センターもしくは窓口である市の保健センターを紹介させてもらうとの説明がありました。

【柱6】ごみ減量と適切な処理の推進

- ・資料4-1及び4-2に基づき、委員（環境課長、広域ごみ処理施設建設対策室長）より説明がありました。

【施策①】ごみ減量と再利用の促進

- ・剪定枝を家庭系可燃ごみとして出す住民が多いが、ごみ減量対策として剪定枝はリサイクルする方向で別途収集車で回収してはどうかとの質問があり、収集車を増やすことは多大なコストが必要となることから、月2回の資源ごみ回収時に出すよう協力をお願いしたいとの説明がありました。
- ・資源ごみの集積場所がコミュニティーの場となっており、分別指導が良い雰囲気できているとの意見がありました。

全般的な内容について

- ・今後の施策展開の方針について、平成26年度と平成27年度で内容が全く同じのものがあるが、各年度の実施結果を踏まえて記述の表現を変えていくべきであるとの意見がありました。

2. その他

- ・議事がすべて終了したため、第3回の会議は開催しない旨事務局より説明がありました。